



西区 人口:155,079人(+14) 男:74,614人(+30) 女:80,465人(-16) 世帯数:70,346世帯(+73) ※令和4年7月末現在(カッコ内は前月比、住民基本台帳による) 面積94.00km<sup>2</sup>

## 意識していますか？住宅防火

問い合わせ 西消防署 市民安全課 予防調査係(☎025-262-2119)

火災のほとんどは、ちょっとした不注意から発生しています。住宅は落ち着く場所で気が緩みがちになりますが、普段の生活を見直して火災を起こさないようにし、大切な命や家を守りましょう。



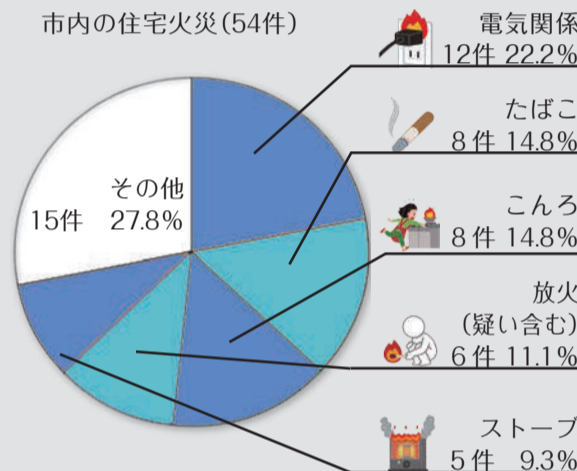
### 西区の火災 6割が住宅火災

令和3年に西区内で発生した火災19件のうち12件が住宅火災でした。火災の発生時期は、1月～3月の寒く空気が乾燥している時期と、8月の気温が最も高くなる時期に多く発生する傾向があります。また、発生時間帯別では、正午から午後6時ごろまでに頻度が増えています。

令和3年の市内および西区の火災発生件数			
市全体	129 件	西区全体	19 件
内訳	建物 97 件 ※うち住宅 54件	内訳	建物 16 件 ※うち住宅 12件
	車両 14 件		車両 2 件
	その他 18 件		その他 1 件

### 知って防ごう出火原因

市内の住宅火災のうち電気関係(電灯・電話などの配線、配線器具、電気装置、電気機器)による発生が最も多く、次いで、たばこ、こんろによる発生が多くなっています。



### いのちを守る4つの習慣



こんろを使うときは火のそばを離れない



寝たばこは絶対にしない、させない



ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

出典：消防庁ホームページ

### いち早く火災に気づくために

#### 住宅用火災警報器の設置・点検していますか？

なぜ住宅用火災警報器が必要なの？

火災を早期に発見し、初期消火や素早い避難をするためです。

#### 住宅用火災警報器の交換目安は **10年** です！

平成23年の新潟市火災予防条例による、住宅用火災警報器の設置義務化から、10年以上が過ぎ、多くの住宅用火災警報器が交換目安時期を迎えています。電子部品の劣化や電池切れにより火災を感知しなくなることがあり、大変危険です。必ず半年に1回は点検し、正常に動作することを確認してください。



点検方法を  
点検ボタンを押すか、ひもを引く。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音になります。

#### 住宅用火災警報器取り付けサポート

住宅用火災警報器は買ってあるが、自分では取り付けができない一人暮らしの高齢者などの世帯を対象に、消防署で住宅用火災警報器取り付けサポートを実施しています。お困りの人は、問い合わせ先までご連絡ください。



### 防火座談会にお伺いします

西消防署では、自治会などで開催される防火座談会に出向き、新潟市の火災件数や原因、火災について気になることをなんでもお答えします。お気軽に問い合わせ先、または各出張所までご連絡ください。

- ◆各出張所
- 寺尾出張所 ☎025-268-1119
  - 赤塚出張所 ☎025-239-3919
  - 小針出張所 ☎025-231-0119
  - 黒埼出張所 ☎025-377-2478

### 消防団員を募集しています！

問い合わせ 西消防署 地域防災課 消防団係 (☎025-262-2119)

消防団は、普段は別の仕事などをしながら、消火・救助活動、防火啓発活動などを行い、地域の皆さんに密着し、地域防災の支えになる役割を担う消防機関です。地域のために活動してみませんか？入団のご相談は、問い合わせ先までご連絡ください。また、消防団の詳細は、市ホームページ(右の二次元コード)に掲載しています。



#### 入団できる人

- 新潟市内に居住し、勤務または通学している人
- 18歳以上の人
- 健康な人

#### 消防団の活動

- ◆災害時の活動
  - 消火活動
  - 捜索・救助活動
  - 水防活動 など
- ◆平常時の活動
  - 消火訓練
  - 防火広報
  - 救命講習会、防火啓発活動 など



○今号掲載の情報は8月29日時点のものです。新型コロナウイルスの感染状況により催し等中止する場合があります。開催状況はそれぞれの問い合わせ先までご確認ください

○催しに参加する場合は、それぞれで実施される感染対策を確認し、徹底をお願いします